



# 月刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.9.19 No. 3464

# 新天皇・アキヒトはなぜ! あえひ! 怒りずまにASEANに飛込むのか!

## 9.25 天皇アセアン訪問許すな! 首都圏総決起集会へ

### 天皇のアジア訪問とアセアンへの飛込

兵は一体

新天皇・アキヒトは、九月二六日からアセアン(東南アジア諸国連合)のタイ、マレーシア、インドネシア三国を訪問しようとしている。

戦前・戦後を通し日本の天皇として初めてアジア諸国に乗り込もうというのである。

自衛隊のカンボジア派兵、自民党独裁への道=小選挙区制を狙って開かれている臨時国会のまった中であえて怒り渦巻くアジアに乗り込むという事は、日本の戦後史を塗りかえる重大な攻撃であり、アジア人民への重大な挑戦である。

天皇は、この三国訪問を突破口に南朝鮮・韓国そして、中国にも乗り込もうとしているのである。

天皇が訪問しようとしているアジア諸国は、いずれもかつて天皇と日本帝国主義が侵略し、「殺しつくし、焼きつくし、奪いつくす」という「三光作戦」を展開し、三千万人もの民衆を虐殺してきたところであり、戦後も「謝罪」すら何ひとつ行っていないのである。

全アジアの民衆は、かつての日本の残

虐さを決して忘れていないし、激しい怒りをこめて天皇の乗り入れを弾劾している。

だから海部は、この春アセアン五ヶ国に莫大な札束を持って歴訪し、天皇訪問の露払いをしてきたのである。

### アジア勢力圏化

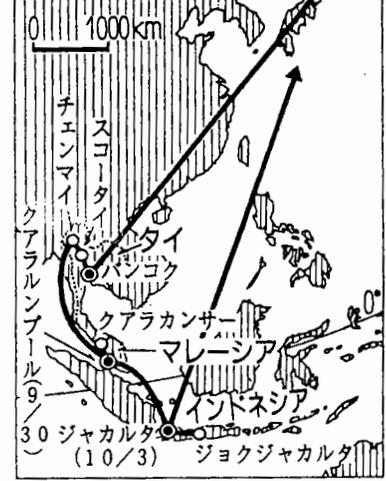
援助という名の搾取・収奪

開発の名による破壊

日本(帝国主義)は、この間、過剰資本、生産力の処理と自らの勢力圏化を企み、東南アジア諸国に対して大型プロジェクト



「日の丸」を掲げて  
フィリピンを侵略する日本軍



天皇の訪問国  
9月26日、東京発  
10月6日帰国

エクトへの政府「援助」と民間投資を目標に、その投資を一挙に増大させ、アジア人民を超低賃金と劣悪な労働条件におき、一切の労働運動を圧殺し、搾取と収奪を欲しのままにしてきた。

一方、ODA(政府開発援助)による巨大開発と工業化は、農業・農村を破壊し、自然を破壊し尽くしてきたのである。そのことにより大量の失業者を生み出し、住民(特にフィリピン)は日本への出稼ぎを余儀なくされている。

中でも、天皇が訪問しようとしている三国は、日本の独占資本が大々的に進出し、政権への大量の金のバラまきで完全に「買収」し、事実上日本の「従属国」化しているのが実態である。

まさに、天皇訪問とPKO法案で自衛隊をカンボジアに出兵させることは一体の攻撃であり、それは「いつか来た道」であり絶対に許してはならないのである。手遅れにならないうちに、今、ここで声を出し行動しよう。

九・二五集会に共に参加しよう!

新たな「大東亜共栄圏」への道を許すな!